

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 7 月 21 日 (2005.7.21)

【公開番号】特開 2003-227653 (P2003-227653A)
 【公開日】平成 15 年 8 月 15 日 (2003.8.15)
 【出願番号】特願 2002-29229 (P2002-29229)
 【国際特許分類第 7 版】

F 2 4 H 1/00

A 4 7 K 3/00

A 6 1 H 33/00

【F I】

F 2 4 H 1/00 6 0 2 P

A 4 7 K 3/00 D

A 6 1 H 33/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 12 月 7 日 (2004.12.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

浴室内でのカランやシャワーの使用状態を検出する入浴行動検知手段と、
 前記入浴行動検知手段からの信号により入浴者の異常を判定する異常判定手段とを有した
 風呂装置。

【請求項 2】

入浴行動検知手段が、カランまたはシャワーの少なくとも一方の流量を検出する流量セン
 サである請求項 1 記載の風呂装置。

【請求項 3】

異常判定手段が、所定時間を超えて流量の変化が検出されない場合に異常と判定する請求
 項 1 記載の風呂装置。

【請求項 4】

流量センサを浴室への給湯配管経路中に設置する請求項 2 記載の風呂装置。

【請求項 5】

流量センサを既存の流量センサにて兼用する請求項 2 記載の風呂装置。

【請求項 6】

入浴行動検知手段は、カランの栓またはシャワーの把持部に触れたことを検出する接触セ
 ンサである請求項 1 記載の風呂装置。

【請求項 7】

異常判定手段は、入浴行動検知手段により所定時間を超えて接触具合の変化が検出されな
 い場合には異常と判定する請求項 6 記載の風呂装置。

【請求項 8】

異常判定手段は、入浴者の浴室への入室を検知する入室センサからの信号に基づき動作開
 始のタイミングを決定する請求項 3 または 7 記載の風呂装置。

【請求項 9】

異常判定手段は、入浴者が浴室への入室を合図するスイッチの信号に基づき動作開始のタ
 イミングを決定する請求項 3 または 7 記載の風呂装置。

【請求項 10】

異常判定手段は、所定流量の湯張りを完了してから所定の遅延時間をおいた時刻に動作開始のタイミングを決定する請求項 3 または 7 記載の風呂装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】